事例No.	2395
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	北海道栗山町

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・少子化・人口減少 ・ICT

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

最新工業技術を活用した定住人口及び関係人口の創出に向けた
拠点施設「ファブ施設（ファブラボ栗山）」整備・運営事業

出典

総務省ホームページ

令和４年度過疎地域持続的発展支援事業

最新工業技術を活用した定住人口及び関係人口の創出に向けた拠点施設「ファブ施設（ファブラボ栗山）」整備・運営事業（北海道栗山町）

【事業背景】

R6.1時点

【事業実施主体】 栗山町
【R4交付金活用額】10,664千円

〇出生率の低下及び都市部への人口の流出に起因する人口減少は深刻化しており、高齢化率の急激な上昇や地域経済の衰退に繋がっている。

〇進学や就職などの社会的要因による若年者人口の減少の影響は甚大であり、農業や商工業をはじめとするあらゆる分野において、担い手不足を引き起こすとともに地域の消費活動を鈍化させ、地域産業における生産活動の低下を招いている。

【取組内容】

【令和4年度に実施した事業】

●提供サービス（見学会・オープンラボ・安全操作講習・工作設備貸出）

〇夏休みプログラミング体験教室
〇デジタル刺繍ミシンワークショップ
〇ファブラボ品川ワークショップ
〇ファブラボ栗山β発表展示会
〇あいさつロボットチャレンジ
〇キーホルダーづくり体験ワークショップ

【取組の概念図】



【取組の写真】



【取組の写真】



【成果、工夫点（令和4年度）】

〇大型CNC切削機や3Dスキャナー等の備品の整備を実施した。
〇提供サービス、各種ワークショップ等の開催により延べ663人の参加が得られ、人材育成等も含めた関係人口の創出が図られた。
〇夏休みプログラミング体験教室やあいさつロボットチャレンジといった小中学生をターゲットにした事業を実施したことにより、次世代の担い手たちへのアプローチに繋がった。

【令和5年度実施中の取組】

〇提供サービス2種追加（はじめてラボ・貸出工作設備の追加）
〇各種ワークショップ等の開催（12回以上開催予定）